

< 授 業 記 録 >

教師の発問・児童（生徒）の反応

学習の様子

1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。(14:10)

T:今日は作品を完成させますが、ちょっと見てもらいたいものがあるので、前に集まってください。

T:1組の作品ですが、奥行きが感じられる作品です。
(タブレットで作品の内部を撮影した写真を提示)

S:すごい。(作品がモニターに映し出された瞬間に歓声)

T:ライトを動かすから、奥行きを感じるところでストップ言ってください。(児童2人に手伝ってもらいながら)

T:(ライトを動かしながら)このあたりとこことどちらがよいですか?

S:うーん。そのへんかな。

T:奥行きが感じられるにはどうしたらよいでしょうか。この作品はなぜ、奥行きが感じられるのでしょうか? S:長いから?

T:何が長いですか? S:箱。

T:物の場所はhowですか? S:虹が遠くに見える。

T:ということは、ほかの物を…。 S:手前に置いて。

T:光はどこに当てるとよいですか? S:奥に当てるといいかも。

T:今日は、奥行きが感じられるように、自分の表したい世界に合わせて、物の? S:置き方。 S:光の差し込み方

を工夫して作品を完成させましょう。
(めあてを板書し、全員で読んで確認)

<めあて>

自分の表したい世界に合わせて、物の置き方や光の差し込み方を工夫して、作品を完成させよう。



2 物の置き方を工夫して、配置する場所を決める。(14:15)

T:さっきやったみたいに、まず物を置いて位置を確かめて、置いたらみんなで協力して、写真もしくは、動画を撮影しましょう。

T:何回も移動させて試してもよいです。初めからボンドで貼ると動かせないから、何がよいですか? S:セロハンテープ。

T:そうですね。それでは、始めてください。

(製作活動開始)

T:まずは、物を自由に動かして試してみましよう。

S:(どの児童もまずは、木や人などのパーツを配置し始める。)

S:(箱の中を覗く穴から、覗きながら物の配置を考えている。)

S1:いい感じのポイントに(光が)当たらない。

S2:手伝うよ。

S1:(ライト2本を使用しながら光の差し込み方と物の配置を試す。)

T:物の配置はどうですか?

S1:(S3の作品を見て)TVはもっと高い方がいいかな?そこにマイクを画用紙で丸めて付けられれば?

S2:(友達のアドバイスを受けて製作を進める。)

T:友達に手伝ってもらいながらつくとよいですね。真ん中の広い机も使ってよいので、協力してやってみてください。

(中央の机で)

S:木が見えない。

T:木が見えないのは、場所の問題でしょうか?

S:(木の位置を動かして再度確認する。)



3 友達と作品を見合いながら、光の差し込み方を工夫して、穴の位置や光の当て方を決める。(14:30)

T: (Sの作品にライトを当てながら) 光の向きとか指示してください。
 ここですか?このあたりですか?どっちに当てたいですか?

S: この子(人形)に当てたいな。

T: こんな感じですか?

S: (写真を撮って、物の位置や光の当たり方を確認後修正。箱の蓋を開けて物の位置を移動。→再び写真撮影。→ライトを動かしながら光の差し込み方を試す。)

T: 写真撮れましたか?

S1: (ライトを当てる手伝い)

S2: 人形を移したからもうちょっと…。

S1: こんな感じ?

S2: もうちょっと奥。

T: ライト動かしてみますか?

(ライトを動かす)

S1: ゆっくりの方がいい。

T: (ゆっくり動かし) OK? S1: OK!

S1S2: (二人で会話しながらタイトルを決めた)

S2: サッカー場の… (自分の作品を見ながら)

S1: 桜の通り道。(自分の作品を見ながら)

S2: いいねえ。

S2 サッカー場で最後の戦い…。

(タイトルと工夫した点を記入しオクリンクで画像を送信)



4 本時の学習内容の振り返りをする。(14:45)

(作品と工夫点を紹介)

T: モニターの前に移動してください。

T: 友達の作品も工夫を見てください。

S: ライトを下から当てている! (モニターに映った作品を見て)
 (児童の発表: 意図的指名)

S1: (タイトル: 海のそこ)

綿に色を付けて、砂の感じを表現した。

サンゴを前に、魚を後ろに置いて、奥行きができるようにした。

S2: (タイトル: 雪の中のクリスマス)

物を後ろに下げて奥行きが出るように工夫することできた。

T: 雪だるまの作品、実は、最初前の方に置いてありました。箱を覗くとほとんど雪だるまという感じでしたが、置く場所を直して、全体が見えるように工夫していましたね。



<児童(生徒)の振り返り>

- ・箱の中におく物を前と後ろに分けて置いたら、奥行きが出た。
- ・物を後ろに下げて奥行きが出るように工夫することできた。